



株式会社 **ニコン**
広報・IR部

2014年3月期 第3四半期 決算説明会

2014年2月6日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

I . 2014年3月期 第3四半期の概況

II . 2014年3月期の見通し

III . 参考データ

2014年3月期 第3四半期 ポイント

株式会社ニコン
広報・IR部



- ◆ 会社全体の前3Q比は、微減収となったが、映像の大幅増益が効いて営業利益は8倍以上。3Q累計では、4%減収・営業利益横ばい

【精機】

3Qは前年比3%増収、営業利益39億円増加。3Q累計は、売上高横ばい・10%増益。3Q・3Q累計ともに、前年比ArF液浸スキャナーは減少、液晶露光装置は増加

【映像】

デジタルカメラ全体で市場縮小が続いているなか、エントリークラス一眼レフの商品ミックス改善、一眼レフ中級・上級機においても新製品投入などをすすめ、四半期ごとに営業利益率を向上させ(今期1Q:7.7%、2Q:9.9%)、この3Qには11.0%まで改善

【インストルメンツ】

3Qは、バイオサイエンス分野は各国の公共予算が増加、産業機器分野は半導体・電子部品向け設備投資が回復基調となり、カンパニーとしては前年比29%増収・赤字幅縮小。3Q累計では、16%増収・赤字幅縮小

- ◆ 国土交通省による土地収用などの対価として150億円の特別利益を計上

2014年3月期 第3四半期 連結売上高・損益

株式会社ニコン
広報・IR部



単位: 億円	13年3月期		14年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	2,660	7,632	2,620	7,324	▲ 40	▲ 308
営業利益 売上高比	21 0.8%	392 5.1%	174 6.6%	393 5.4%	+ 153	+ 1
経常利益 売上高比	14 0.5%	409 5.4%	176 6.7%	376 5.1%	+ 162	▲ 33
当期純利益 売上高比	3 0.1%	323 4.2%	239 9.1%	375 5.1%	+ 236	+ 52
FCF	▲ 354		272		+ 626	
為替 ドル	81円	80円	100円	99円	売上高への影響 + 398 + 1,104	
ユーロ	105円	102円	137円	132円	営業利益への影響 + 79 + 278	

前3Q比、映像を中心としたコスト削減効果もあり、会社全体では微減収ながら
大幅な営業増益

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあります。

2014年3月期 第3四半期 精機カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部

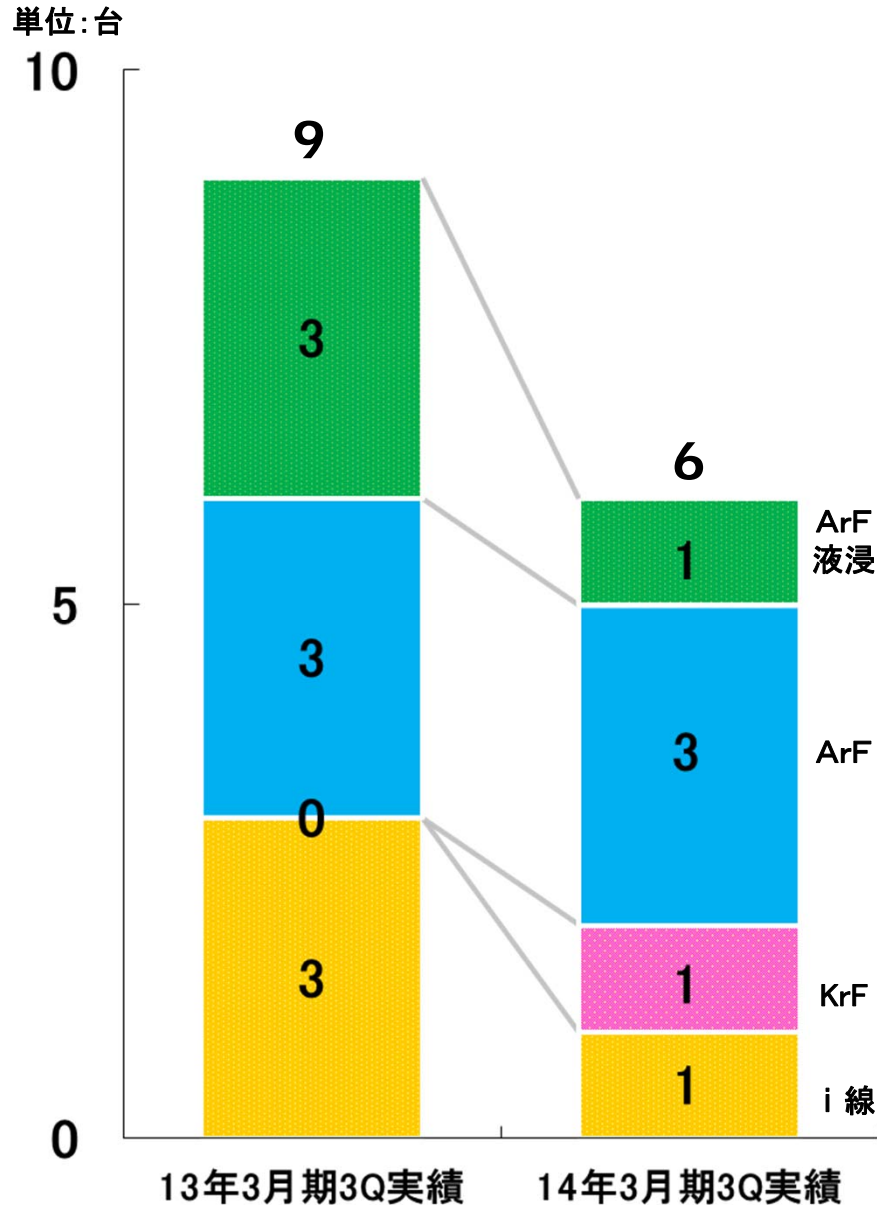


単位: 億円	13年3月期		14年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	397	1,201	408	1,206	+ 11	+ 5
営業利益	▲ 21	50	18	55	+ 39	+ 5
売上高比	—%	4.2%	4.4%	4.6%		
半導体露光装置 新品/中古	6/3台	15/8台	4/2台	14/4台	▲2/▲1台	▲1/▲4台
液晶露光装置	7台	32台	11台	46台	+ 4台	+ 14台

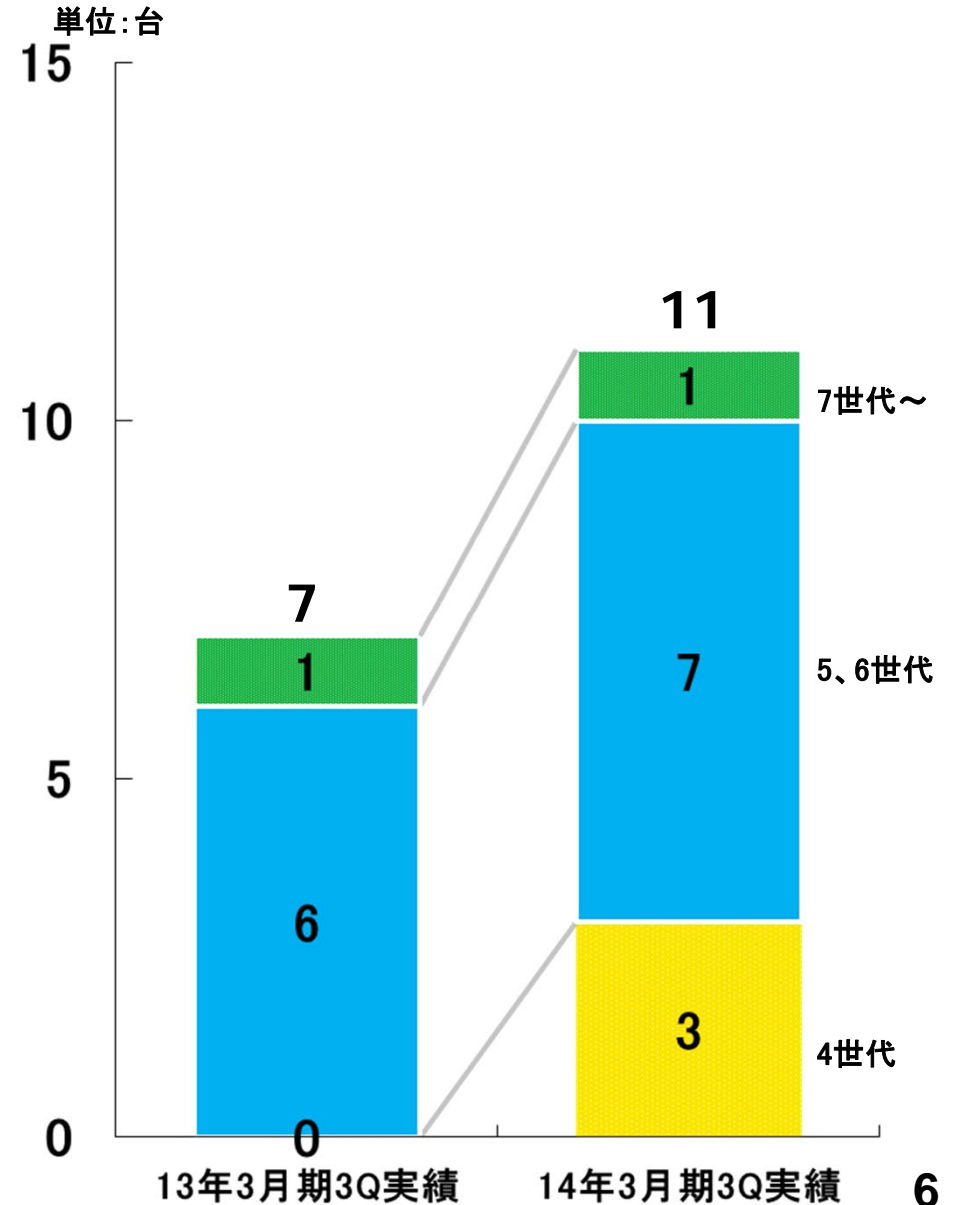
前3Q比・3Q累計比とも、ArF液浸スキャナーは減少したが、液晶露光装置は引き続き高いシェアを維持して増加。前3Q比 3%増収、営業利益は39億円増加。前3Q累計比では売上横ばい・10%増益

2014年3月期 第3四半期 精機カンパニー

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)



液晶露光装置世代別販売台数



2014年3月期 第3四半期 映像カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



単位: 億円	13年3月期		14年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	2,073	5,884	2,004	5,529	▲ 69	▲ 355
営業利益 売上高比	106 5.1%	524 8.9%	220 11.0%	529 9.6%	+ 114	+ 5
レンズ交換式 デジタルカメラ	210万台	555万台	176万台	473万台	▲ 34万台	▲ 82万台
交換レンズ	295万本	771万本	251万本	670万本	▲ 44万本	▲ 101万本
コンパクト デジタルカメラ	619万台	1,445万台	381万台	961万台	▲ 238万台	▲ 484万台

前3Q比、市場(出荷台数ベース)はレンズ交換式カメラが10%、コンパクトタイプは32%縮小。このような市場環境のなか、エントリークラス一眼レフの商品ミックス改善や、一眼レフ中級・高級機の新製品投入をすすめた結果、3Qの営業利益は前年比倍増

2014年3月期 第3四半期 インストルメンツカンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



単位: 億円	13年3月期		14年3月期		前年実績比	
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計
売上高	121	358	156	416	+ 35	+ 58
営業利益 売上高比	▲ 17 -%	▲ 47 -%	▲ 9 -%	▲ 43 -%	+ 8	+ 4

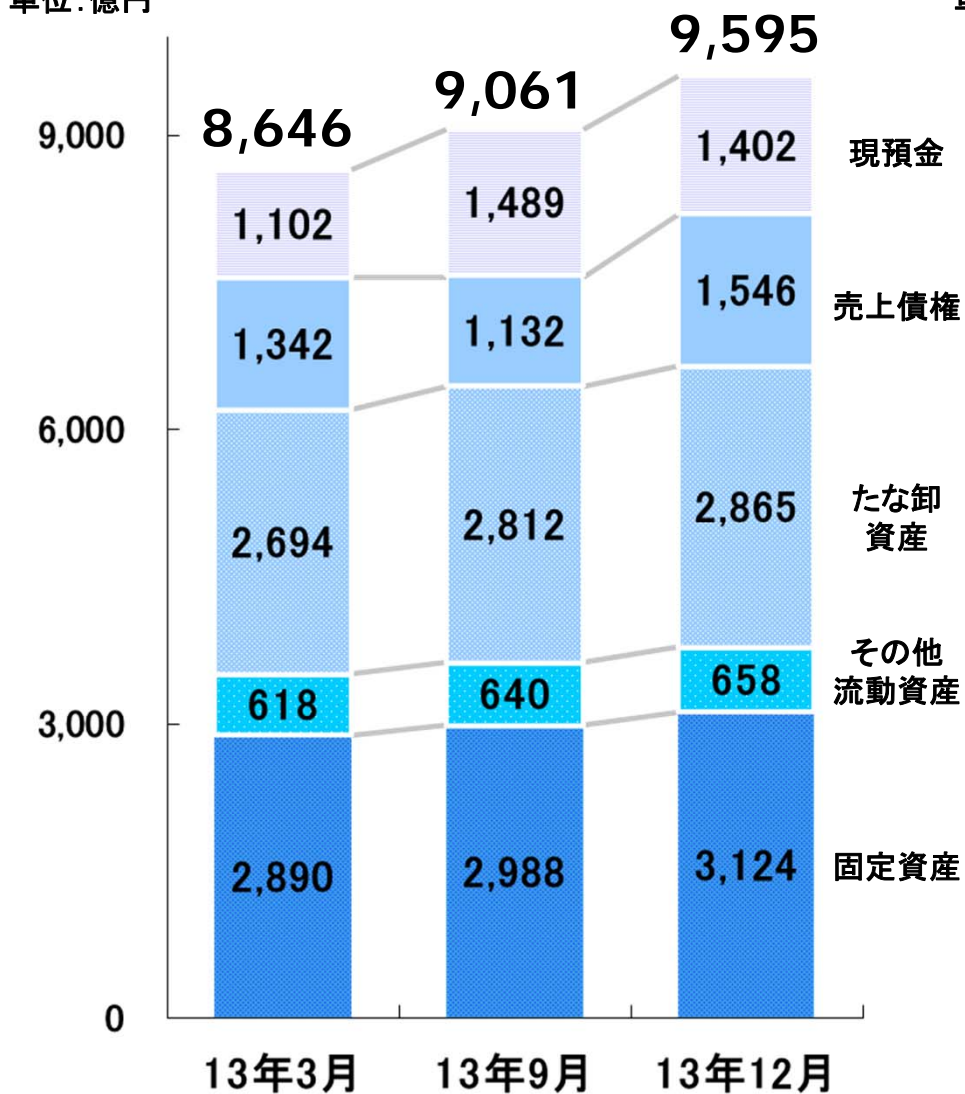
バイオサイエンス分野は、上期・3Qともに各国公共予算の増加で前年比増収。産業機器分野は、上期は設備投資低迷で前年比減収だったが3Qは半導体・電子部品向け設備投資が回復基調となって増収

2014年3月期 第3四半期 B/S内訳



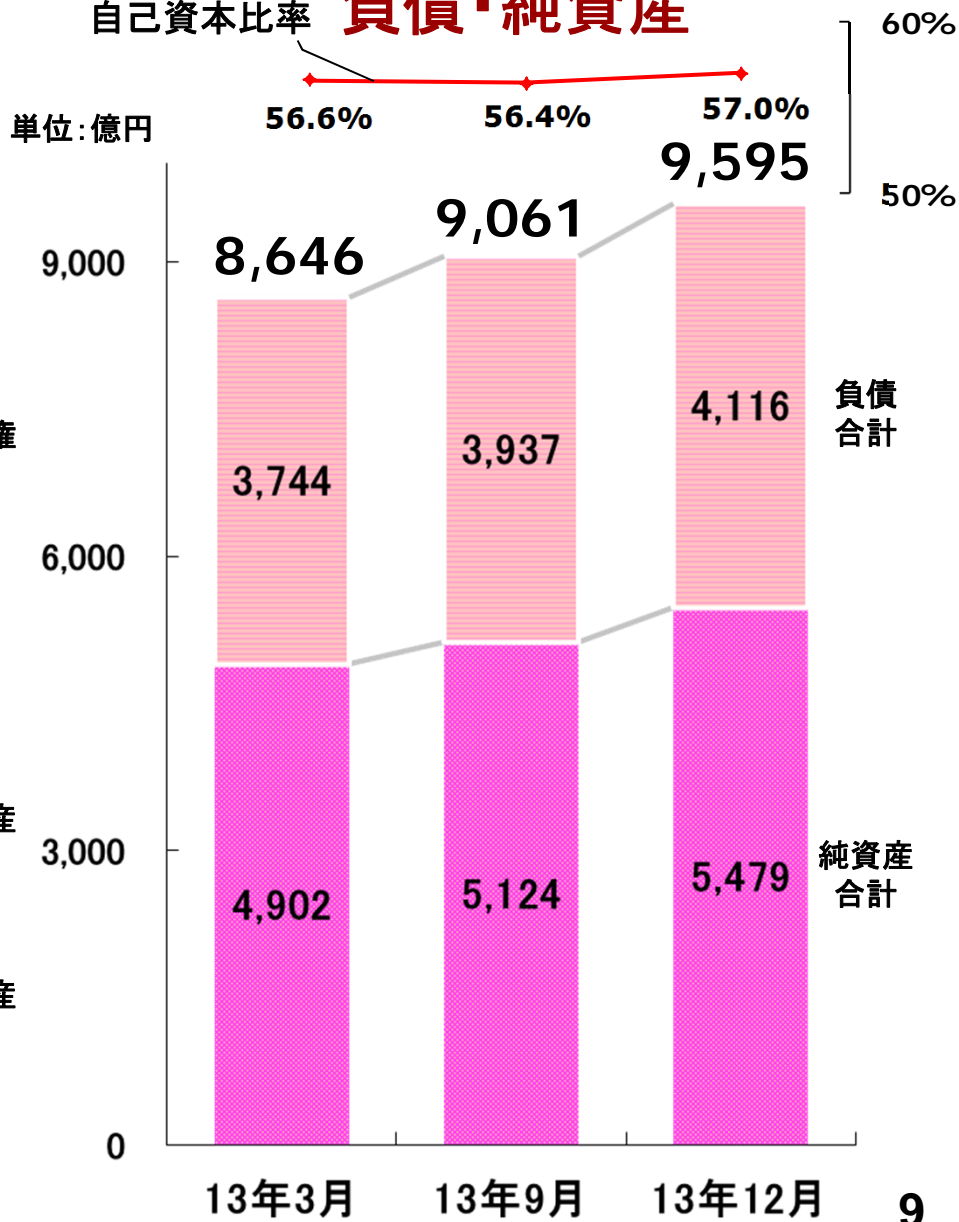
資産

単位：億円



自己資本比率 負債・純資産

単位：億円



Agenda

- I. 2014年3月期 第3四半期の概況
- II. 2014年3月期の見通し**
- III. 参考データ

2014年3月期 見通しポイント



◆ 売上高・各利益は、会社全体・各事業部門ともに前回予想を据え置く

【精機】

・下期の販売は予定どおり。通期見通しの売上高・利益は、前回予想を据え置く

【映像】

・中国・欧州のカメラ市況が従来予想を下回り、レンズ交換式カメラと交換レンズの販売台数見通しを下方修正するが、売上高は円安効果を見込んで据え置く。営業利益についても、さらなる経費削減をすすめることにより前回予想を据え置く

【インストルメンツ】

・下期の販売は予定どおり。通期見通しは、前回予想を据え置く

◆ 経営対策委員会による200億円のコスト削減は予定どおり進捗しており、達成可能

◆ 4Qの為替前提を、米ドルは95円から100円に、ユーロは125円から135円に変更

2014年3月期 見通し 連結売上高・損益

株式会社ニコン
広報・IR部



単位：億円	13年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (11/7)	上期 下期	14年3月期 見通し	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比
売上高	10,104	$\frac{4,972}{5,132}$	10,150	$\frac{4,704}{5,446}$	10,150	$\frac{4,704}{5,446}$	+ 46	± 0
営業利益 売上高比	510 5.0%	$\frac{371}{139}$	650 6.4%	$\frac{219}{431}$	650 6.4%	$\frac{219}{431}$	+ 140	± 0
経常利益 売上高比	483 4.8%	$\frac{395}{88}$	630 6.2%	$\frac{200}{430}$	630 6.2%	$\frac{200}{430}$	+ 147	± 0
当期純利益 売上高比	424 4.2%	$\frac{320}{104}$	500 4.9%	$\frac{136}{364}$	500 4.9%	$\frac{136}{364}$	+ 76	± 0
FCF	▲ 132		400		400		+ 532	± 0
為替 ドル	83円	$\frac{79円}{87円}$	97円	$\frac{99円}{95円}$	100円	$\frac{99円}{100円}$		
ユーロ	107円	$\frac{101円}{114円}$	127円	$\frac{130円}{125円}$	133円	$\frac{130円}{136円}$		

売上高と各利益の通期見通しは、前回予想を据え置く

2014年3月期 見通し 精機カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



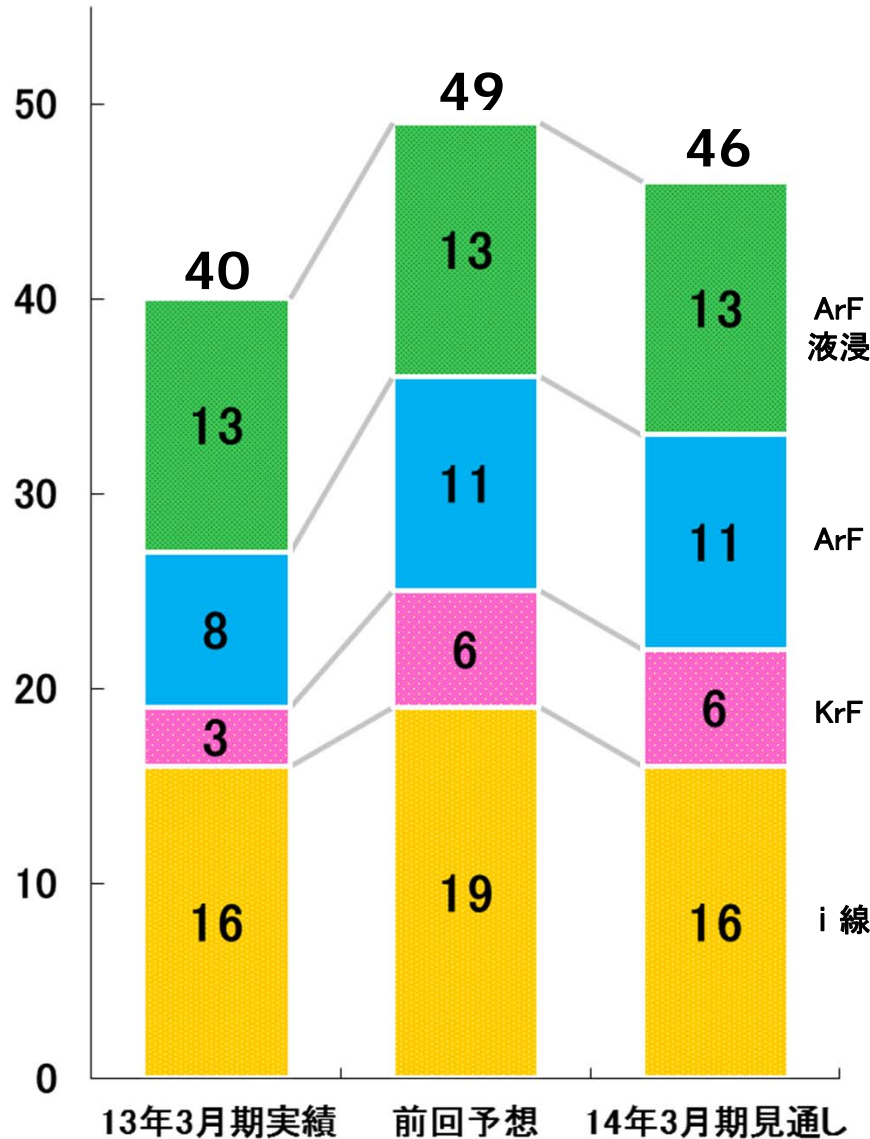
単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (11/7)	上期 下期	14年3月期 見通し	上期 下期
売上高	1,790	$\frac{804}{986}$	2,150	$\frac{798}{1,352}$	2,150	$\frac{798}{1,352}$
営業利益 売上高比	130 7.3%	$\frac{72}{58}$	190 8.8%	$\frac{37}{153}$	190 8.8%	$\frac{37}{153}$
半導体露光装置 新品/中古	25/15台	$\frac{9/5}{16/10}$	36/13台	$\frac{10/2}{26/11}$	36/10台	$\frac{10/2}{26/8}$
液晶露光装置	43台	$\frac{25}{18}$	55台	$\frac{35}{20}$	55台	$\frac{35}{20}$
半導体露光装置 市場規模 CY12/13	222台		200台程度		209台	
液晶露光装置 市場規模 CY12/13	66台		80台程度		73台	

売上高・利益は前回予想を据え置く。ArF液浸スキャナーは、最新モデルで顧客数拡大に注力

2014年3月期 見通し 精機カンパニー

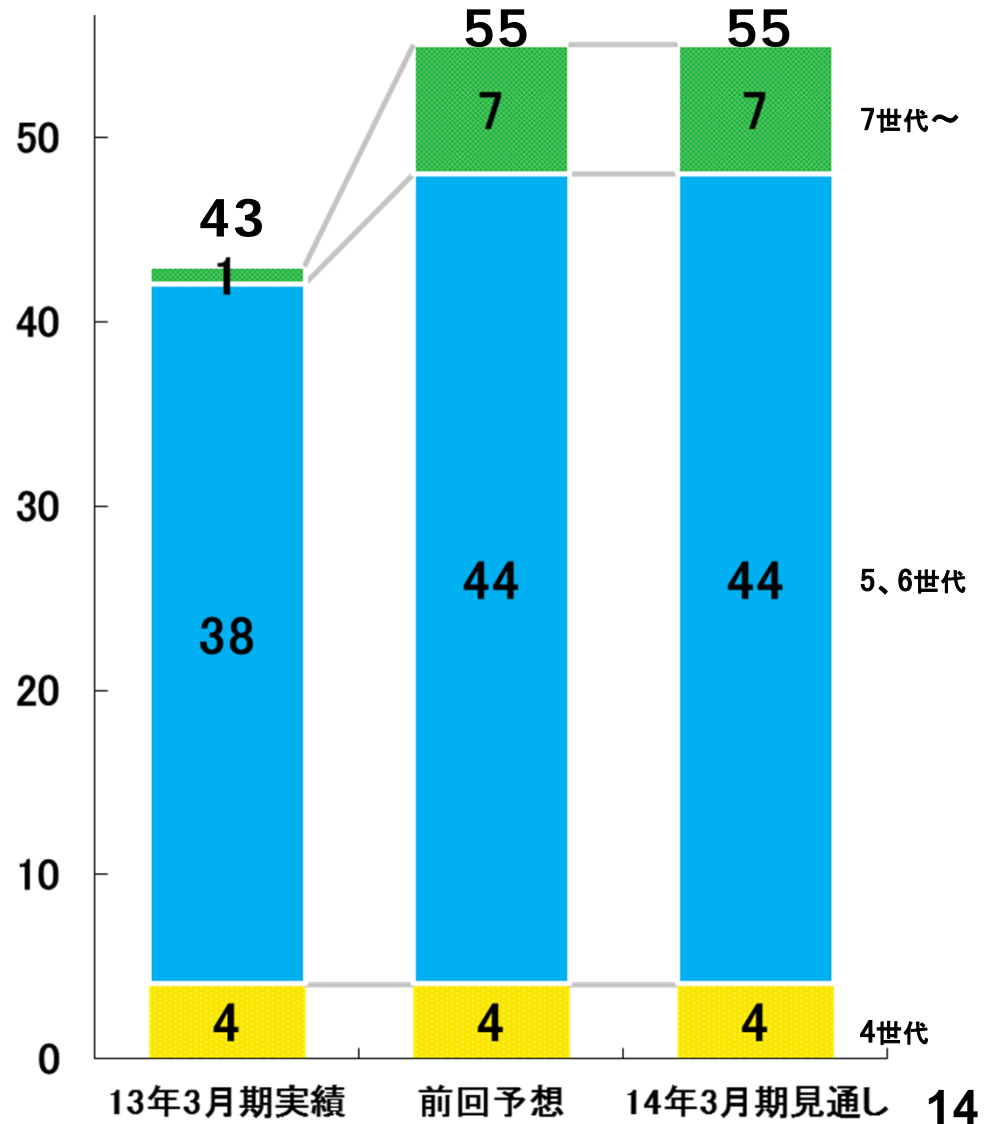
半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)

単位:台



液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



2014年3月期 見通し 映像カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



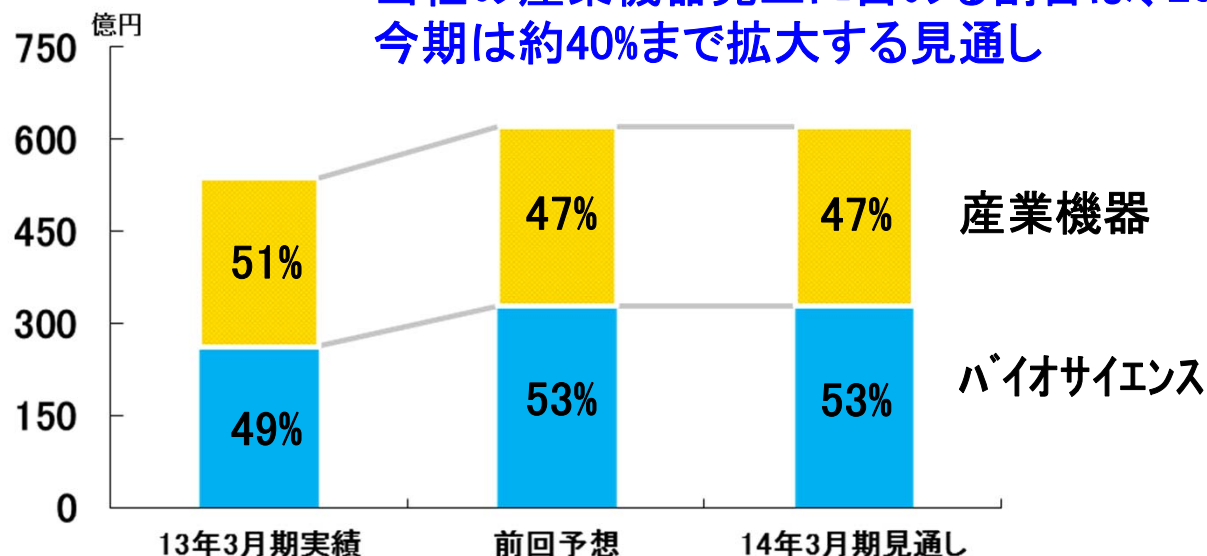
単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (11/7)	上期 下期	14年3月期 見通し	上期 下期
売上高	7,512	$\frac{3,810}{3,702}$	7,100	$\frac{3,525}{3,575}$	7,100	$\frac{3,525}{3,575}$
営業利益 売上高比	607 8.1%	$\frac{418}{189}$	680 9.6%	$\frac{309}{371}$	680 9.6%	$\frac{309}{371}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	698万台	$\frac{345}{353}$	620万台	$\frac{298}{322}$	600万台	$\frac{298}{302}$
交換レンズ	971万本	$\frac{477}{494}$	860万本	$\frac{420}{440}$	840万本	$\frac{420}{420}$
コンパクト デジタルカメラ	1,714万台	$\frac{826}{888}$	1,150万台	$\frac{580}{570}$	1,150万台	$\frac{580}{570}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,923万台		1,870万台		1,720万台	
交換レンズ 市場規模	2,964万本		2,900万本		2,700万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	6,808万台		4,700万台		4,350万台	

前年下期に約5%まで低下した営業利益率を、この下期には10%超に戻す計画

2014年3月期 見通し インストルメンツカンパニー

単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (11/7)	上期 下期	14年3月期 見通し	上期 下期
売上高	538	$\frac{237}{301}$	620	$\frac{260}{360}$	620	$\frac{260}{360}$
営業利益 売上高比	▲ 49 —%	$\frac{▲ 29}{▲ 20}$	▲ 20 —%	$\frac{▲ 34}{14}$	▲ 20 —%	$\frac{▲ 34}{14}$

非接触三次元測定機やX線検査装置は、自動車・航空機産業向けに販売拡大を図ってきた。これら装置を扱う子会社Nikon Metrologyの当社の産業機器売上に占める割合は、2012年3月期の約25%から、今期は約40%まで拡大する見通し

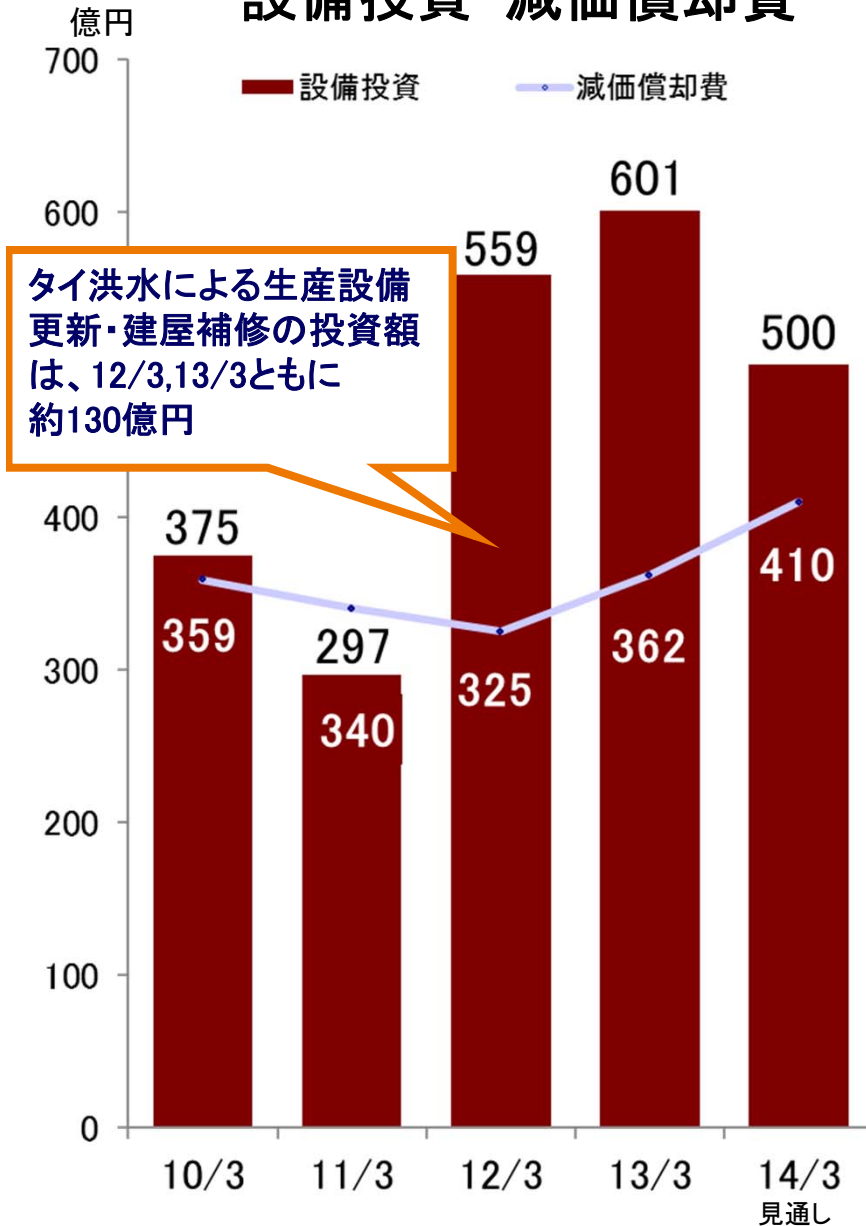


2014年3月期 見通し 設備投資・減価償却費 研究開発費

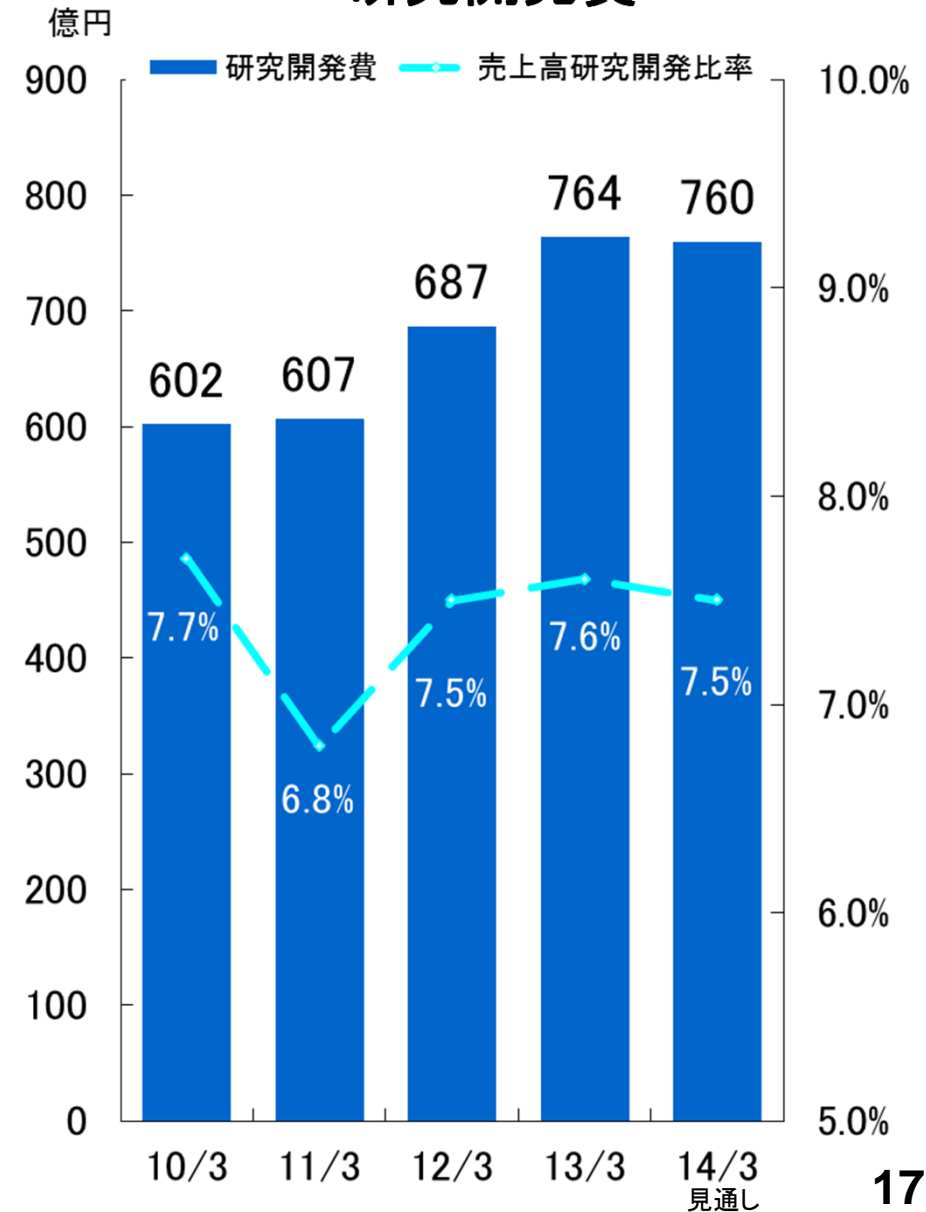
株式会社ニコン
広報・IR部



設備投資・減価償却費



研究開発費



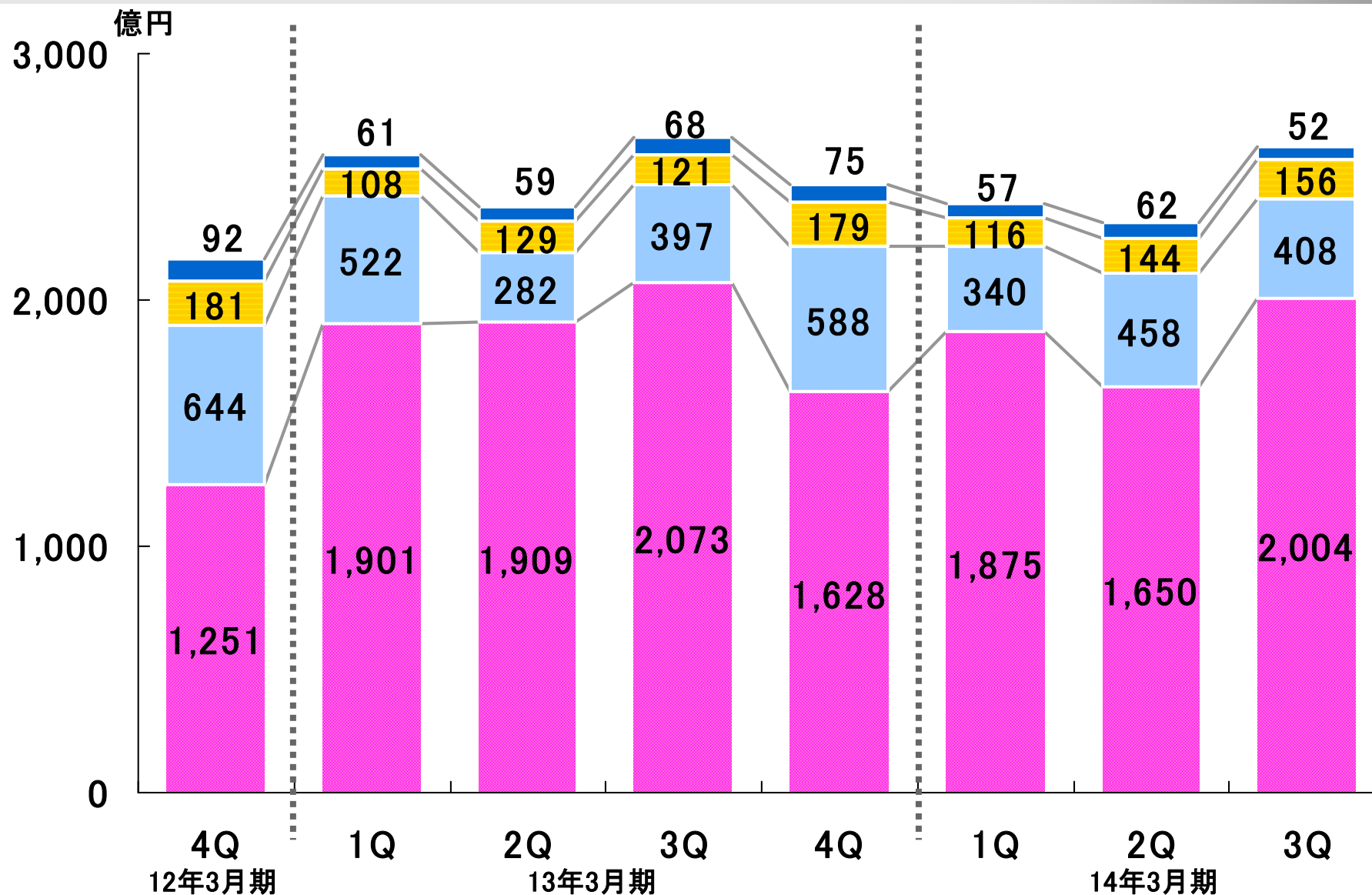
Agenda

- I. 2014年3月期 第3四半期の概況
- II. 2014年3月期の見通し
- III. 参考データ**

2014年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	14年3月期 4Q前提	売上高 4Q	営業利益 4Q
USドル	100 円	約 10 億円	約 0.2 億円
ユーロ	135 円	約 4 億円	約 2 億円

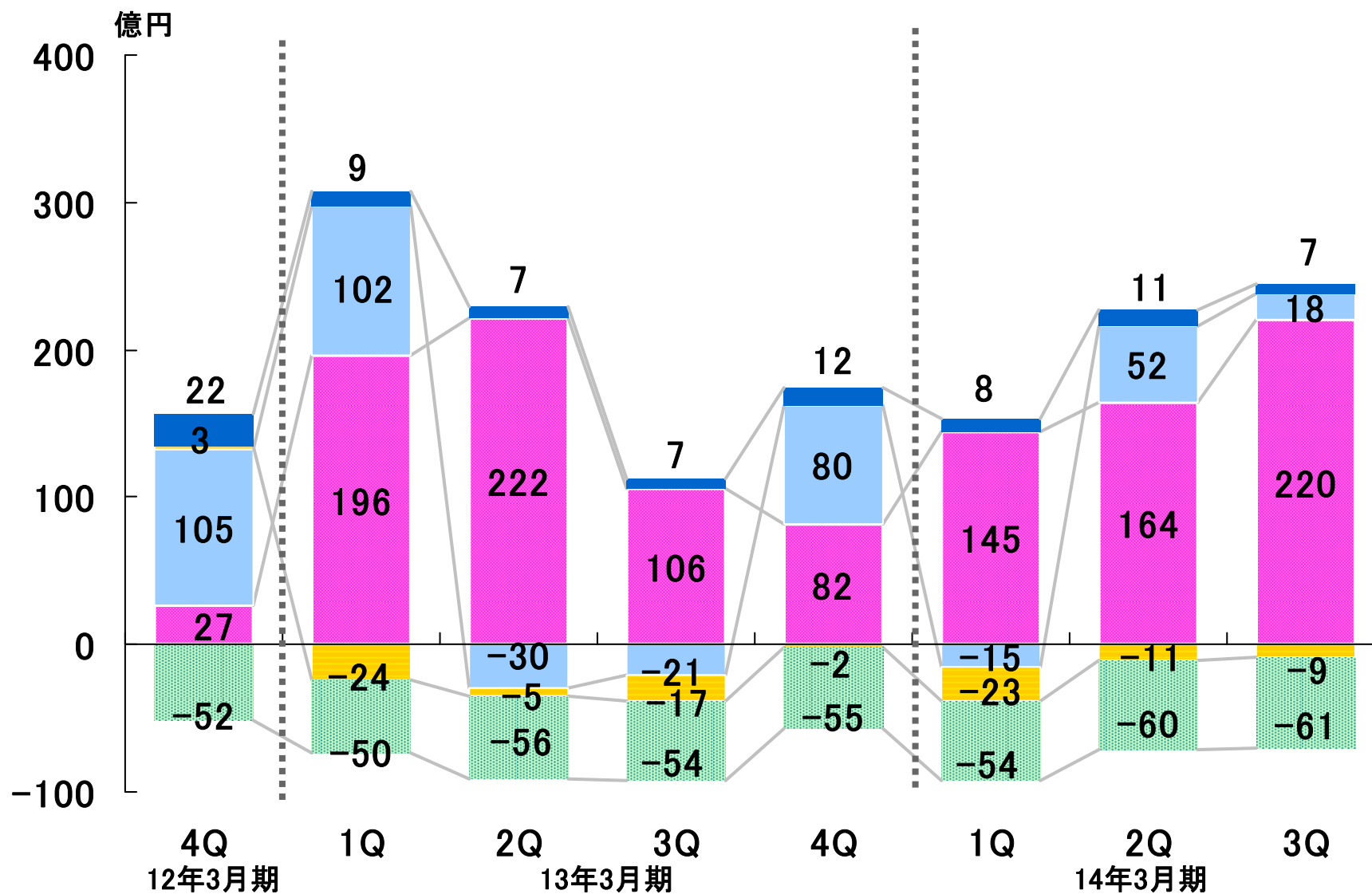
参考データ 四半期セグメント別売上高推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業 ■ 全社費用

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。



NIKON CORPORATION